

- ▶ 牛久市では、牛久自然観察の森の活動を通じて、国内の森林整備の結果、産出される間伐材の利用や、広く市民にその利用について普及啓発に取り組むことに森林環境譲与税を活用していく方針である。
- ▶ 令和2年度は、牛久市産の間伐材を利用した木製玩具「二人でコロコロ」等を製作する木材利用と、施設内の木育ひろば及び出張木育広場開催により森林資源についての普及啓発を行ったが、令和3年度においては、以下の取組を実施。
 - ・ 間伐等を行い森林整備を行うことで、園路の安全性や雑木林の更新、既存植生の光環境の改善により草本類の多様性の維持が進んだ。
 - ・ 市内にある牛久自然観察の森にある木育ひろばで、赤ちゃんから大人までを対象に木のおもちゃとの触れ合い、温もりを感じ、香りに包まれる体験により、材料となる木を通じて、森林の興味を持ってもらうきっかけづくりや森林資源の普及啓発活動を行った。
- ▶ 令和4年度においても同様にを進めて行くこととしている。

□ 事業内容

自然観察の森での森林整備及び木育活動の充実

- ・ 施設内の森林整備及び木育ひろばで遊べる木製玩具等を製作。施設内及び外部出張にて、普及啓発を実施。

【事業費】 42,320千円（うち譲与税8,305千円）

（譲与税は、施設内の森林整備費、木製玩具製作費に充当）

【実績】 木育ひろば利用人数 年間 6,849人



（親子がひろばで遊ぶ様子）



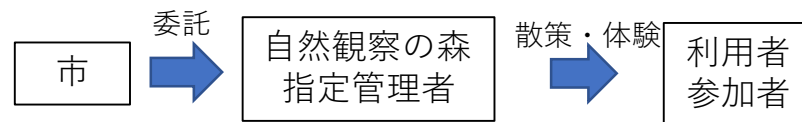
（大型木製玩具「魚釣り場」）



（森林整備）

□ 事業スキーム

自然観察の森での森林整備及び木育活動の充実



□ 工夫・留意した点

- ・ 森林整備に関してはカシノナガキクイムシの食害を防止した。
- ・ 令和3年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館が続いたが利用者は増加した。開館したときに、安心して利用できるように、木のおもちゃ、机、いすなどのアルコール消毒と紫外線殺菌を日々行い、参加者に安心して利用できるよう対応した。
- ・ また、出張木育ひろばを利用した親子、近隣住民が木の積み木など、普段と違う木のおもちゃを利用することで、観察の森の木育ひろばへの来園の普及啓発につながった。

◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	8,305千円
②私有林人工林面積（※1）	489a
③林野率（※2）	20.1%
④人口（※3）	84651人
⑤林業就業者数（※4）	5人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より、

※4：「H27年国勢調査」より